

フランスの文学と文化

日本人作家とフランス

林芙美子や二葉亭四迷、近代日本画の父浅井忠などの評伝で知られる作家の太田治子先生をお招きし、フランスと縁の深い日本人作家について、フランスやフランス文学からどのような影響を受けたかをお話し頂きます。

講師：太田治子

作家

7月18日(火) 13:00~14:30

会場：講義棟 430講義室

* 本講演は「フランスの文学と文化」(担当：国際学部・大場静枝)の授業の一環で開催します。受講者以外の方の聴講も歓迎します。

Profile : 1947年神奈川県生まれ。明治学院大学英文科卒。76年~79年、NHK「日曜美術館」の初代司会アシスタントを務める。86年、『心映えの記』で坪田譲治文学賞受賞。2006~10年NHK「ラジオ深夜便」の「私のおすすめ美術館」担当。近著に『石の花 林芙美子の真実』『時こそ今は』(ともに筑摩書房)、『明るい方へ 父・太宰治と母・太田静子』『夢さめみれば 日本近代洋画の父・浅い忠』(ともに朝日新聞出版)、『星はらはらと二葉亭四迷の明治』(中日新聞社)など多数。